

今号の内容

- ふるさとの誇り難波田城
- 図録紹介「難波田城のすべて」
- おもしろ・なつかし体験 紙粘土のまゆ玉だんご
- 資料紹介御定杭と鷹場絵図
- 春のイベント予定

ふるさとの誇り難波田城

市民学芸員 渋谷 晃



在りし日の難波田城跡

私は南畑生まれ南畑育ちです。亡くなった母の実家は整備された難波田城のすぐ北側で、家族は「こしろ(古城)ん家」と呼んでいました。また難波田城に接続したすぐ北側には叔父さんの家が2軒あって、家の入口には高い土盛り(土塁)がありました。

私が子供の頃は、城跡といっても田畑の中に竹やぶと墓、それから「難波田直次郎」という碑と「難波田氏館址」という碑が建っていただけでした。そこは小さな公園のようになっていて、たしか鉄棒とブランコがありました。叔父さんの家に遊びに行ったついでにブランコで遊んだことを覚えています。そして少し離れたところには天神社がやぶの中にありました。当時、何も知らない私はここに難波田氏の家が合ったぐらいしか理解していませんでした。

そして時が流れ、市でおこなった発掘調査に基づき復元され、平成12(2000)年6月に開園記念式典が行われました。私もそこに居合わせましたが、りっぱに整備された城跡ゾーンを見てびっくり。そこは多くの人で埋め尽くされていました。

令和2年からの市民学芸員養成研修のなかで知っ

たことですが、母の実家は難波田城の蔵屋敷あたりで、叔父さん達の家は本丸に相当するようです。なんで叔父さん達の家が難波田城の本丸に相当する地にあるのか、その理由はわかりません。それから難波田城から西に200メートルの地点には山形遺跡があります。市による発掘調査からは鎌倉時代の鉢が出土したとのこと。もしかしたらここに難波田氏の祖先が居館を構えていたかもしれません。この場所は以前南畑小学校があった場所で、卒業生の私としては興味津々です。

ところで、難波田城の歴史は古く、市の発掘調査に基づく推定では15世紀後半には存在したようです。難波田城古絵図では、城は北側を除き河川で囲まれており、さらに河川の内側は深田や浅田があって、平城ではあるが堅固な作りとなっていたようです。映画「のぼうの城」で有名な行田の忍城を思い起こさせます。

これからもふるさとの誇りとして多くの人に知って頂き、難波田城を後世まで大切に保存していきたいものです。

市民学芸員のページ *このページは市民学芸員が原稿を執筆、編集しました。

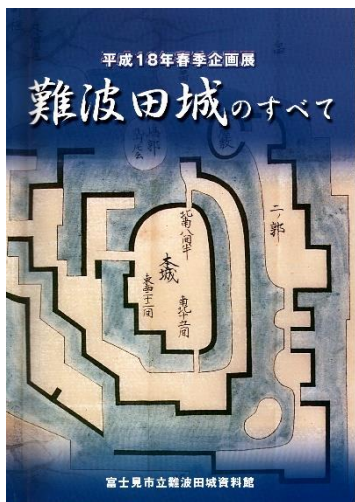
難波田城 ちよっと拝見 みどころ紹介

図録『難波田城のすべて』

本図録は、平成18年3月に開催された春季企画展「難波田城のすべて」の展示図録です。今回はその概要を紹介いたします。

難波田城の歴史は、武蔵七党の村山党に属する金子高範が承久の乱（1221年）に参戦し討死した恩賞として、遺族にこの地が与えられたことから始まるとされます。難波田城の築城は発掘調査によって15世紀後半と推定されており、後北条氏の関東支配の終了（1590年）による廃城まで長い歴史を重ねました。本図録では、中世における城の機能と役割や武蔵の城、難波田城の城主、また難波田氏について解説されています。難波田城（館）が、中世の関東での混沌とした時代を生き抜いてきたことをうかがうことができます。

難波田城に関する中世の記録は乏しいため、本図録では江戸時代に作成された「城絵図」や「地誌」に描かれている難波田城が紹介されています。また、数度に渡る発掘調査の様子や出土品等豊富な写真・資料も掲載されています。これらを通じて、難波田城の構えの大きさや築城の工夫を、そしてこの地を駆け巡った当時の人々の生活の息吹を感じることができます。（小林 茂雄）



出土品の漆のお椀(図録 19 頁)

おもしろ・なつかし体験⑦②

紙粘土のまゆ玉だんご

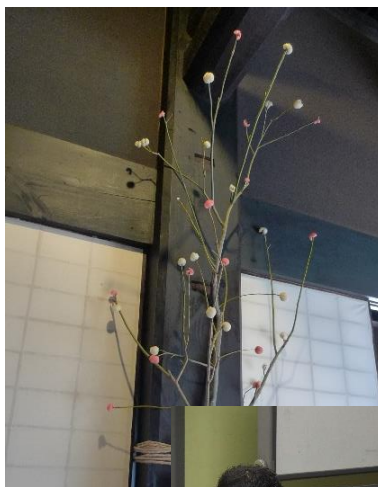
このコーナーは、難波田城公園での体験学習やイベントの紹介・報告・参加者の感想などを取り上げます。

難波田城公園では1月の終わりから2月の初めにかけて、旧金子家住宅の中にマユ玉ダンゴが飾られます。柳や梅の木の枝に紅白のダンゴを刺して飾ったもので、まるで花が咲いたかのように見えます。

このダンゴは蚕の繭や里芋などに似せて作ったものです。本来は小正月1月14日にこの飾りを作り、年神様・かまどの神様・井戸の神様など家中の神様にお供えます。翌日、そのダンゴを小豆がゆの中に入れて家族で食べると御利益があるといわれています。五穀豊穡・無病息災を祈る小正月の行事です。

2月5日のちよっと体験は、このマユ玉ダンゴに模したものを作る『紙粘土のまゆ玉だんご』でし

た。紅白の紙粘土を丸めてだんごを作り 30 cmほどの木の枝につけて作ります。今回は小さいお子さんの参加が多数でしたが、いろいろな形のだんごを作ったり、配色を考えたり、皆さんそれぞれのまゆ玉飾りができあがりしました。（安藤 昭子）



人の創ったもの★人の使ったもの

おさだめぐい 御定杭と鷹場絵図

令和4年3月19日(土)から6月12日(日)まで春季企画展「鷹場の村々」を開催します。江戸時代の鷹場や村が負わされた負担等について紹介します。

尾張家鷹場の成立

鷹狩は訓練した鷹を使って鳥や小動物を捕らえる狩猟法です。3代將軍徳川家光は、鷹狩を行う場所として、寛永5年(1628)に江戸五里四方を幕府鷹場としました。同10年、幕府鷹場の外側を御三家の鷹場として下賜しました。尾張家鷹場は概ね江戸の北西、紀伊家は北、水戸家は北東にありました。

富士見市が尾張家の鷹場となったのは、延宝4年(1676)と考えられています。西北の谷や峯が多い場所は獲物の冬鳥が少ないので、代わりに富士見市から朝霞市にいたる、川や沼が多い地域を拝領しました。尾張家の鷹場は次第に広がり、宝暦3年(1753)には180か村(5万9071石)、天保13年(1842)には185か村(6万7646石4斗)となりました。こうして、江戸時代に市内にあった村々は幕府や大名の支配だけでなく、尾張家の支配も受け鳥類保護や道・橋の整備などの負担を課されました。

鷹場御定杭

尾張藩は鷹場の範囲を示すために御定杭おさだめぐいを建てました。宝暦3年(1753)には83本ありました。杭は土

このコーナーでは、当館所蔵の資料や富士見市ゆかりの資料を紹介します。今ではあまり使われなくなったものからわたしたちの身近な歴史をひもといてみたいと思います。

を盛った塚の上に建てられました。さらに、塚を垣根で囲み、近くに目印となる木を植えました。文政4年(1821)の記録によると、市内では勝瀬村の字榎元(蛇島調節池付近)と字市海道(ふじみ野東付近)、大久保村の字武蔵野開(ふじみ野西付近)と字船戸上(船渡橋付近)の4か所に建てられました。

御鷹場絵図

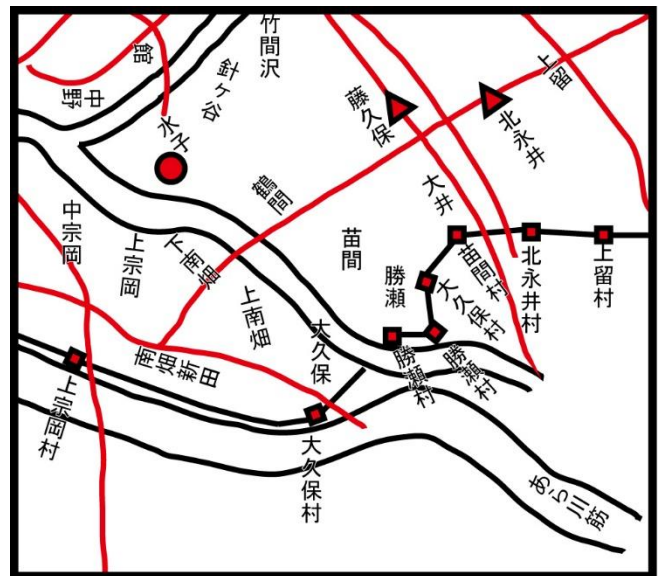
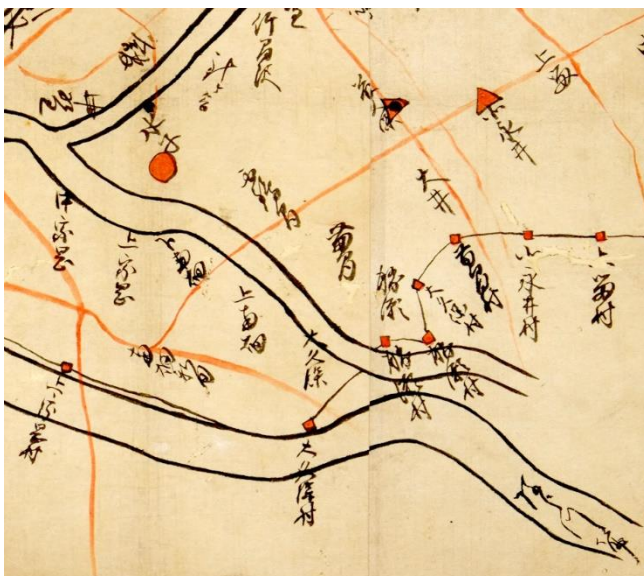
鷹場の範囲を描いた絵図も作成されました。絵図には御定杭やそれを管理する村名等が描かれています。

企画展の資料調査で、文政4年(1821)に長谷川源吾が作成した絵図が発見されました。長谷川は尾張藩の水子陣屋の役人で、この絵図は陣屋で使われていたと考えられます。下の図は富士見市付近です。主な道を赤線、陣屋を赤丸、御鷹場御預り御案内(鷹場の管理をする有力な農民)がいる村を赤三角、杭の位置が赤四角で示されています。

このほか、鷹場や鷹狩に関する古文書や絵巻物、浮世絵等を展示します。ぜひご覧ください。(山野 健一)



御鷹場御定杭これより(従是南尾張殿鷹場)



文政4年(1821)「尾張藩御鷹場御定杭絵図」(部分。写真上の方が南)

＊ ＊春のイベント予定＊ ＊

●春季企画展「鷹場の村々」

江戸時代に市内にあった村々は、尾張徳川家の藩主が鷹狩りをする鷹場となっていました。当時の資料などから、鷹狩りのようすや村々の役割などを紹介します。

会期／3月19日(土)～6月12日(日)

会場／特別展示室(無料)

●企画展関連講演会

「尾張藩鷹場の成り立ちと支配」

講師／蛭田晶子氏(NPO 法人日本放鷹協会会員)

とき／3月19日(土)午後1時30分～3時

会場／講座室

定員／17名(無料、申込み順)

申込み／3月1日(火)午前9時から電話で

●ちよっ蔵市「草もち」

とき／3月27日(日)午前11時より

価格／1パック 350円※売り切れ次第終了

場所／旧金子家住宅

●ちよこっと体験「よろいを着てみよう」

とき／5月14日(土)

午前10時～正午、午後1時～3時

対象／幼児(5歳以上)～大人

会場／旧金子家住宅

定員／30分に5人(計40人 無料、申込み順)

協力／川越藩火縄銃鉄砲隊保存会

申込み／5月1日(日)午前9時から電話で



●ふるさと探訪

「旧宿場と科学のまち・和光市を巡る」

とき／5月14日(土) 午前9時～12時30分

集合／成増駅改札口

主な見学地／旧白子宿、地福寺、白子熊野神社、白子富士、湧き水群

定員／20人(申込順)

参加費／500円(当日集金)

申込み／5月1日(日)～5月12日(木)

午前9時～午後5時に電話で

主催／資料館友の会ふるさと探訪部会・難波田城資料館

ちよっ蔵市(難波田城公園活用推進協議会主催)

3月27日(日)草もち

4月24日(日)柏もち

5月はお休み

田舎まんじゅうの販売

毎月第一、第三日曜日に行います。

各日ともに10:30～売り切れ次第終了です。

●端午の節句の鯉のぼり

4月下旬～5月下旬、旧大澤家住宅の前庭に飾ります。

この時期にご来園の際は是非ご覧ください。



※なお、ここに掲載されたイベント等も含めコロナの感染状況などにより変更となる場合があります。最新の情報は資料館公式サイト(下記URL、QRコードよりアクセス可)をご覧ください。

〈開園時間変更のお知らせ〉

4月から9月の間、公園の開門時間は午後6時になります。資料館と古民家は午後5時までです。



富士見市立難波田城資料館
〒354-0004 埼玉県富士見市下南畑 568-1

Tel. 049-253-4664 Fax. 049-253-4665



https://www.city.fujimi.saitama.jp/madoguchi_shisetsu/02shisetsu/shiryokan/nanbatajo/index.html

◆休館日／月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土・日・祝日を除く)、年末年始 開館時間／午前9時～午後5時

◇公園休園日／なし 開園時間／午前9時～午後6時(4月～9月) 午前9時～午後5時(10月～3月)

資料館公式サイト